

廃炉・汚染水対策事業スキームとRFPの予定

2014年4月25日

 株式会社三菱総合研究所
廃炉・汚染水対策事業事務局

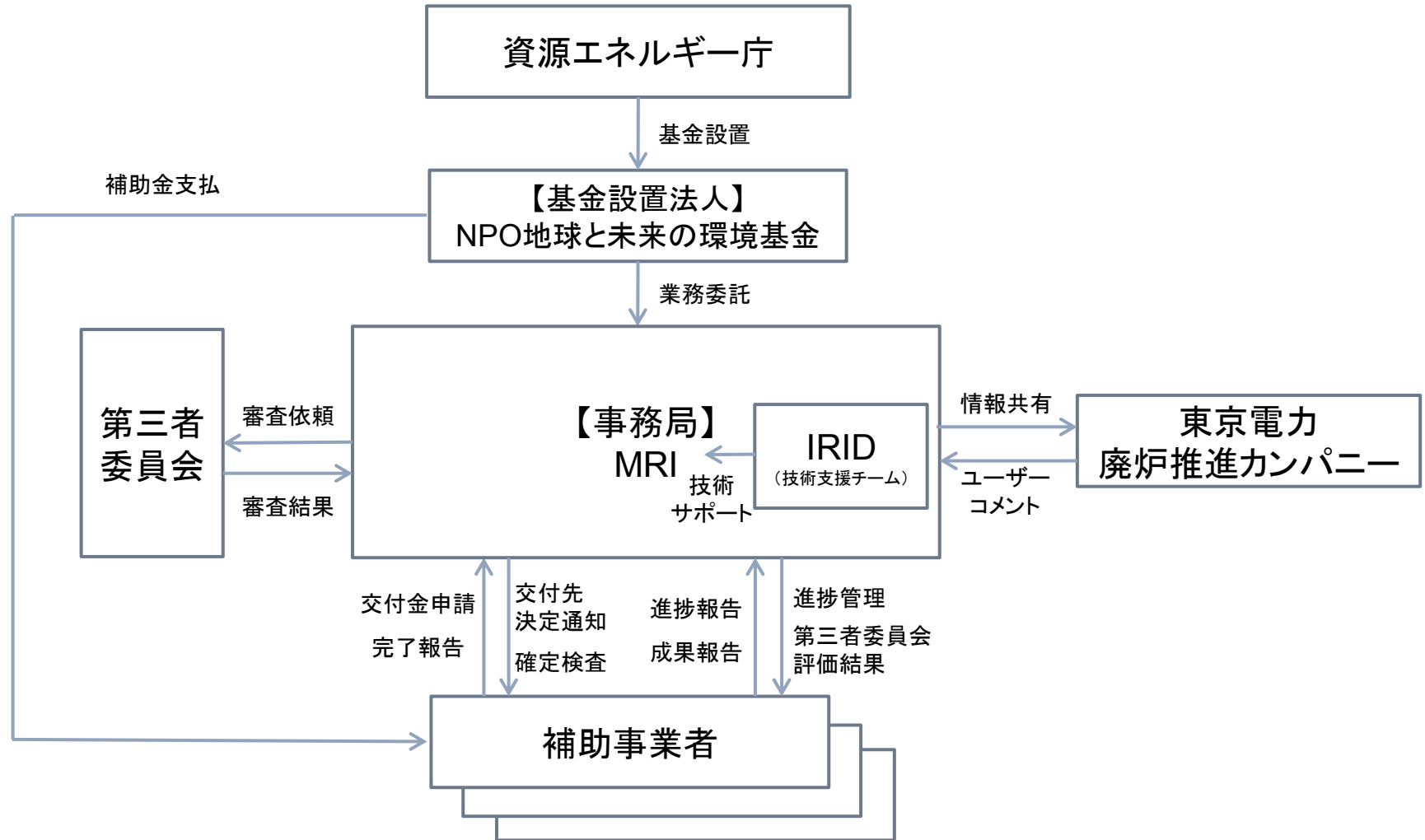
目次

これまでの経緯	3
事業スキーム	4
RFIとRFPの位置づけ	5
今後の想定スケジュール	6

これまでの経緯

時期	内容	実施主体
2013年12月13日～ 2014年1月31日	<ul style="list-style-type: none"> 燃料デブリ取り出しに向けた代替工法の設計及び、そのために必要となる技術に関する情報提供依頼(RFI) 	経済産業省資源エネルギー庁 ＜国際廃炉研究開発機構(IRID)へ委託＞
2013年12月17日	<ul style="list-style-type: none"> 燃料デブリ取り出し代替工法についての情報提供依頼(RFI)についてのワークショップ開催 	経済産業省資源エネルギー庁 IRID
2014年2月～3月	<ul style="list-style-type: none"> 提供いただいた情報の精査 	同上
2014年2月25日	<ul style="list-style-type: none"> 資源エネルギー庁は「廃炉・汚染水対策事業費補助金」の事務局を担当する組織として三菱総合研究所(MRI)を選定 	経済産業省資源エネルギー庁
2014年4月25日	<ul style="list-style-type: none"> 燃料デブリ取り出し代替工法の研究開発プロジェクト実施に向けたワークショップ開催 	MRI IRID

事業スキーム



RFIとRFPの位置づけ

- 2013年12月～1月で行ったRFI(技術情報募集)と、本ワークショップで説明するRFP(補助事業者の公募)の違い
 - RFI(技術提案募集)は、世界の叡智を結集するため、どのような技術・アイデア等が存在するのか把握するために実施した情報提供の依頼
 - これから実施予定のRFP(補助事業者の公募)は、資源エネルギー庁(エネ庁)からの補助金により、C/S(概念検討)・F/S(実現可能性検討)の実施する者を決定するための公募
- RFI(技術情報募集)へ提供のあった情報の取扱い
 - RFI(技術情報募集)において提供頂いた情報は、RFP(補助事業者の公募)のための技術仕様をまとめるために利用
 - 「公開不可」として提供を受けた情報については、RFIの手続要領のとおり、IRID内に設置した特別チーム、エネ庁、東京電力のみに限定して共有
- RFP(補助事業者の公募)について
 - RFI(技術提案募集)に応募していなくてもRFP(補助事業者の公募)への応募は可能
 - 今後、RFP(補助事業者の公募)が開始された後、様式に則って、応募書類等を提出する必要がある



本資料に関するお問い合わせ先

株式会社 三菱総合研究所

廃炉・汚染水対策事業事務局

ファクシミリ: 03-3578-7025

電子メール: hairo-jimu@mri.co.jp
